

令和 4 年 10 月 5 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会  
会 長 芥 川 真 一

## 第 528 回 構造懇話会 令和 4 年度 例会のご案内

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。  
標記の令和 4 年度 例会を下記のとおり開催いたします。

本会も新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みとして「ハイブリッド開催  
(会場参加 + オンライン参加)」とさせていただきます。

皆様方には何かとご不便をお掛けする事となり恐縮ですが、多数のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時 令和 4 年 10 月 27 日 (木) 13:45~16:00

2. 場 所 神戸市教育会館 404 号室 (会場参加)

神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111

URL : <http://www.kobekhall.com/>

(※講演はこの会場で行われます。)

(オンライン参加)

【Zoom による参加 (下記の URL をクリックすることで参加できます)】

<https://us02web.zoom.us/j/83452074000?pwd=amNsWkhFTkJFYUNYeHplY3M1ZEU4QT09>

ミーティング ID: 834 5207 4000

パスコード: 228120

オンライン参加の方には、各発表の開始 3 分前に ZOOM のチャットボックスにて資料配布を行います。\*

【案内図】



※現在、オンラインでの資料配布方法を検討中です。今回は試行的に ZOOM のチャットボックスで配布を行います。ただし ZOOM の仕様で、ご自身がログインする前のチャットは閲覧することができないようです。幹事が資料を配布した後に ZOOM にログインされた場合、資料を受け取れない可能性がございますので、お早目にログインをお願いします。

※CPD 登録について

本プログラムは土木学会認定 CPD プログラムです。

土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。

### 3. 議 題

- 1) 事務連絡 13:45～13:50
- 例会①部 13:50～14:50  
『大深度の埋土地盤に計画される高架橋の設計』  
協和設計株式会社 構造グループ 成田 将典 氏
- 休憩 14:50～15:00
- 2) 例会②部 15:00～16:00  
『合成桁のこれまでとこれから』  
日本橋梁株式会社 小西日 出幸 氏

#### 【報告概要】

##### 例会①部 『大深度の埋土地盤に計画される高架橋の設計』

協和設計株式会社 構造グループ 成田 将典 氏

事業継続中の採石事業地内を通過する高架橋設計において、採掘深部の岩盤を支持層とした柱状体基礎を有する高橋脚のPC5径間ラーメン箱桁橋を計画した。

橋脚付近の将来計画として、採掘終了後には事業地全体が盛土され、柱の大部分が埋没することから、柱に作用する埋土の影響評価や将来の柱基部の維持管理が課題となった。

ここでは、埋没する柱部分の地中構造物としての解析検討と妥当性の評価、維持管理に配慮した基礎の嵩上げや、確実な施工を可能とする基礎形式の採用など不確実な地盤条件に配慮した橋梁計画の事例を紹介する。

##### 例会②部 『合成桁のこれまでとこれから』

日本橋梁株式会社 小西日 出幸 氏

合成桁は昭和20年代末にドイツなどから導入され、採用が広まったが、昭和50年代になって床版の損傷の顕在化などから採用が減少し、いわゆる非合成桁が主流になった。その後、平成10年頃から高速道路会社で合理化を目指して導入された少数钣桁形式等で合成桁が復活し、標準的な形式として定着した。しかし、一般道路では、床版補修が困難とならないとされる非合成桁も根強く採用されていた。平成29年に道路橋示方書が部分係数設計法・限界状態設計法に大きく改定され、その機会に従来からの非合理的な考え方も見直され、非合成桁は事実上認められなくなった。鋼道路橋設計便覧も令和2年に改定され、合成桁の設計もこれまで考慮されていなかった照査が求められ、設計の現場が混乱している状況も見られる。

これまでの道路橋示方書等での合成桁の取扱の変遷と現行の合成桁設計の課題について整理し話題提供とする。

#### 【連絡先】

阪急設計コンサルタント株式会社 小嶋 勉

E-mail : kojima-t848@sekkei.hankyu.co.jp

Tel : 06-6359-2756 / Fax : 06-6359-2762

構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>